

2017年12月期 決算説明

2018.2
株式会社ビジョン
証券コード：9416

本資料に記載された意見や予測などは資料作成時点での当社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。
さまざまな要因の変化により、実際の実績と異なる可能性があることをご承知ください。

- 2017年12月期・決算概要（連結）
- 今期（2018年12月期）見通し
- セグメント業績2017実績～2018見通し
 - グローバルWiFi
 - 情報通信サービス
- 今期（2018年12月期）見通し グラフ
- 「進化への挑戦」～2018年12月期重点取組み施策～
- グローバルWiFi事業成長ストーリー

2017年12月期決算概要（連結）



過去最高値。利益率も継続して向上。

(百万円、%)

科目	FY2016実績			FY2017実績	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高	14,843	100.0	+18.3%	17,554	100.0
売上総利益	8,622	58.1	+17.8%	10,160	57.9
営業利益	1,290	8.7	+38.6%	1,788	10.2
経常利益	1,298	8.7	+38.3%	1,795	10.2
親会社株主に帰属する 四半期純利益	813	5.5	+48.5%	1,208	6.9

今期（2018年12月期）業績予想



売上高：前年比17.3%、営業利益：同25.9%増

(百万円、%)

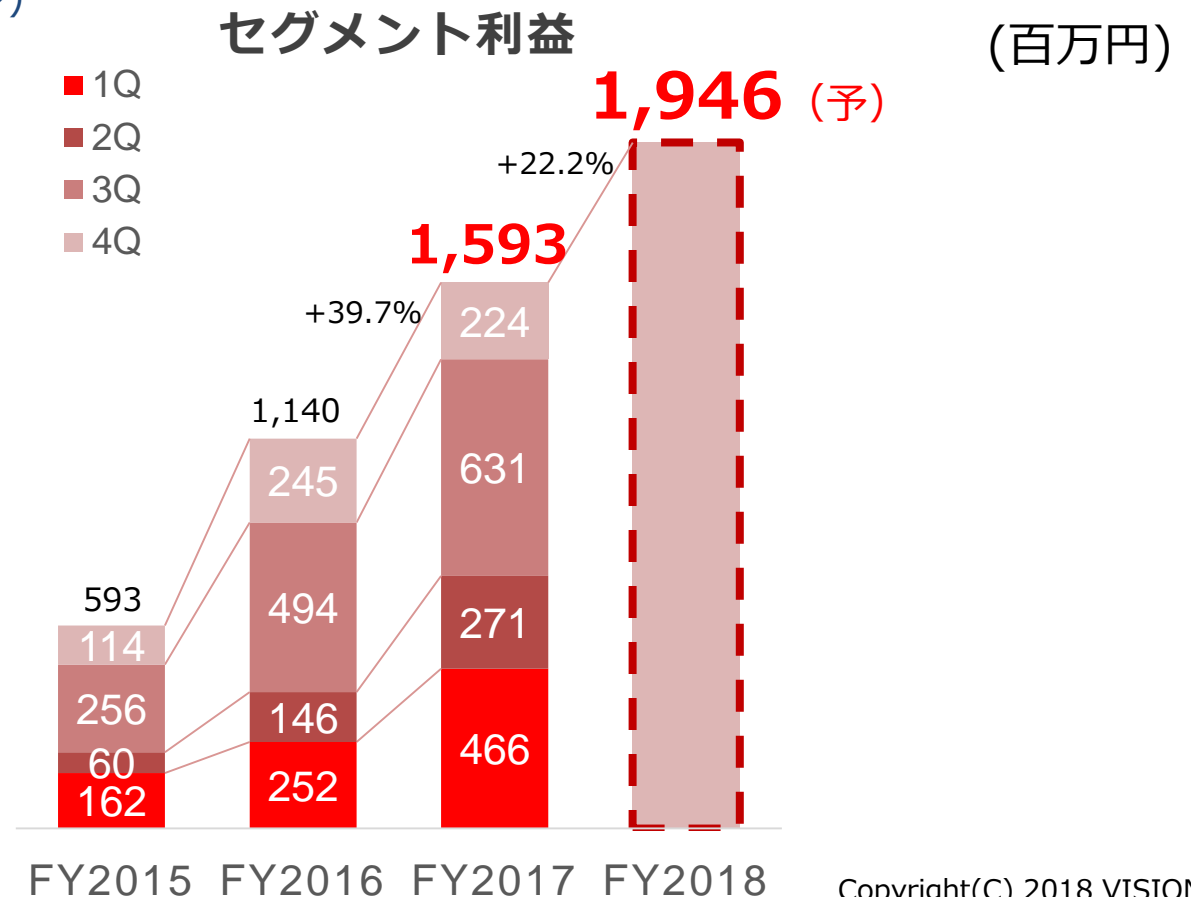
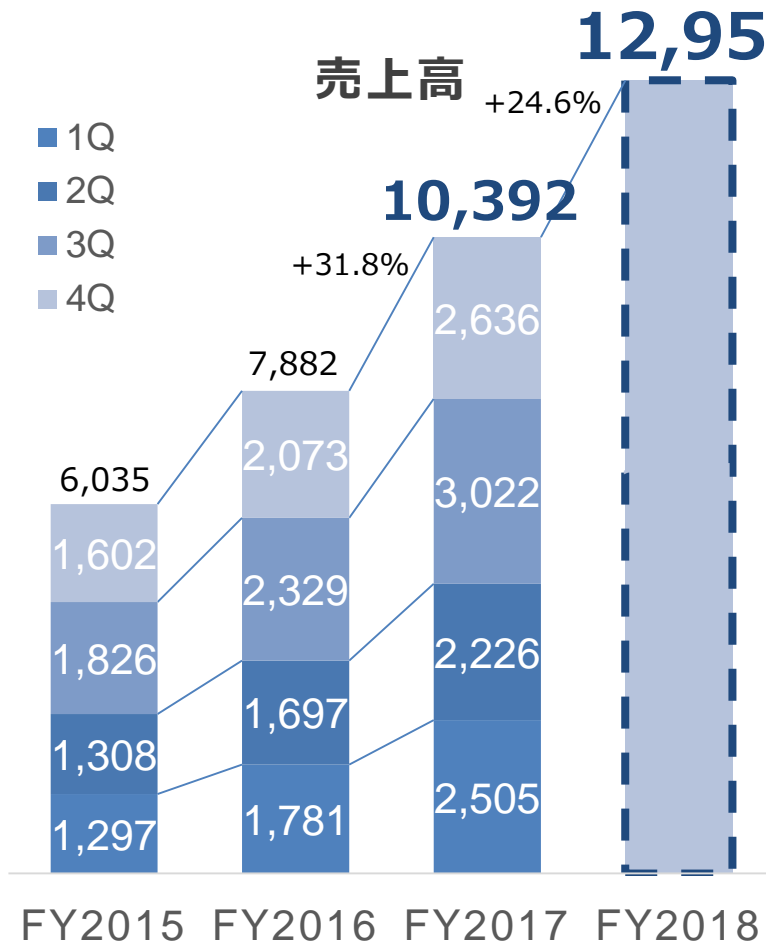
科目	FY2017実績			FY2018予想	
	金額	構成比		金額	構成比
売上高	17,554	100.0	+17.3%	20,559	100.0
売上総利益	10,160	57.9	+19.1%	12,103	58.8
営業利益	1,788	10.2	+25.9%	2,252	10.9
経常利益	1,795	10.2	+25.6%	2,254	10.9
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,208	6.9	+25.8%	1,520	7.4

グローバルWiFi事業 業績推移



顧客獲得ペースが加速。費用効率改善も進み、大幅な増収増益。

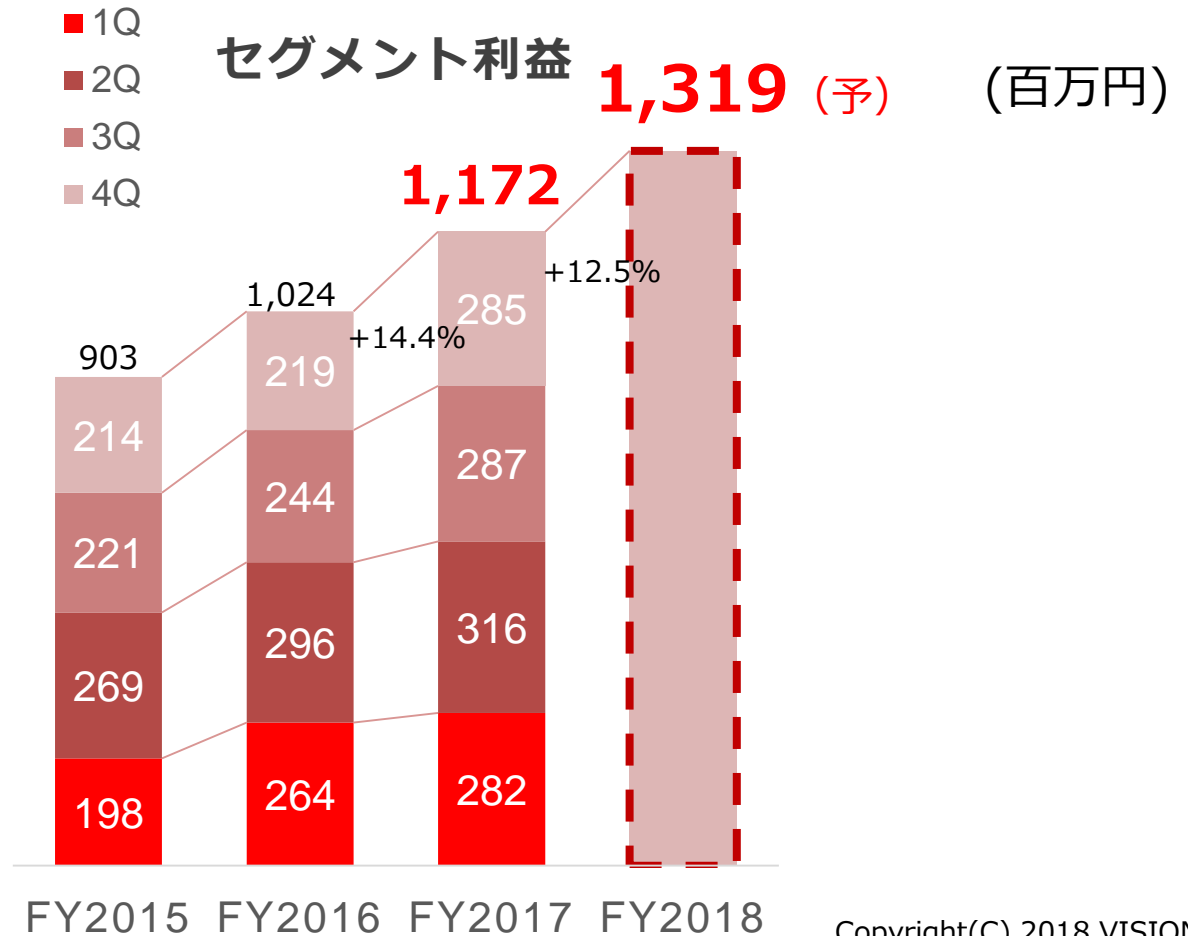
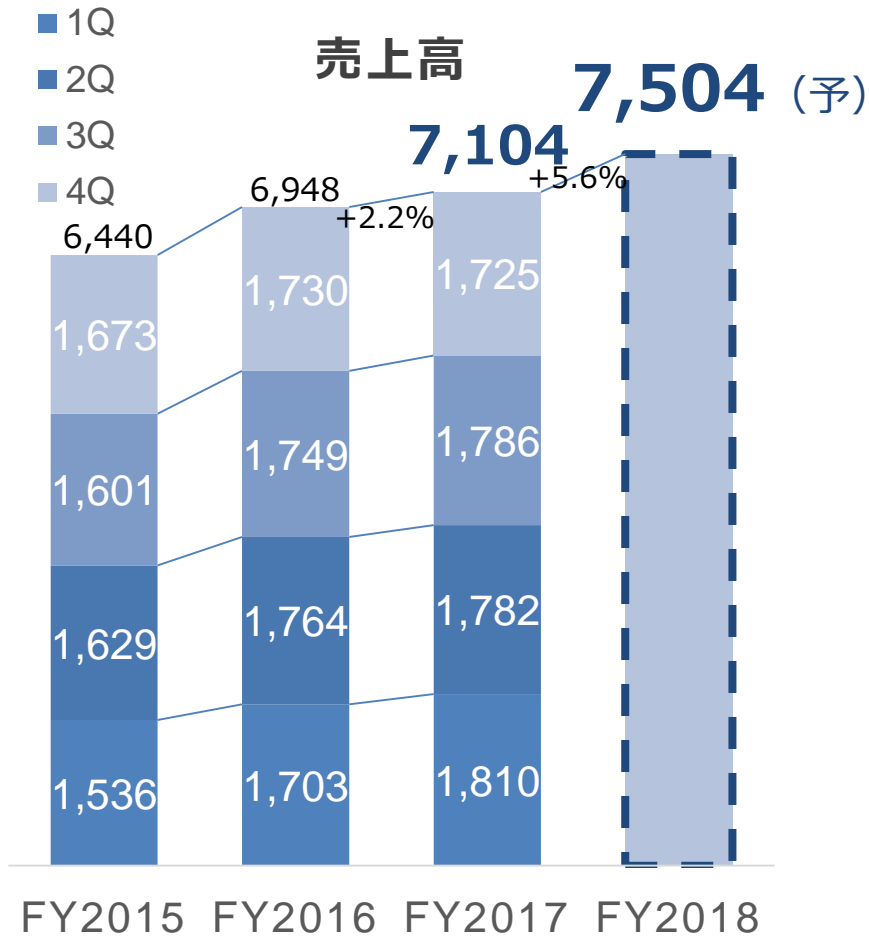
- 重点施策（法人獲得、リピート利用）、個人旅行の取り込みが堅調。
- インバウンド市場の拡大を取り込み。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

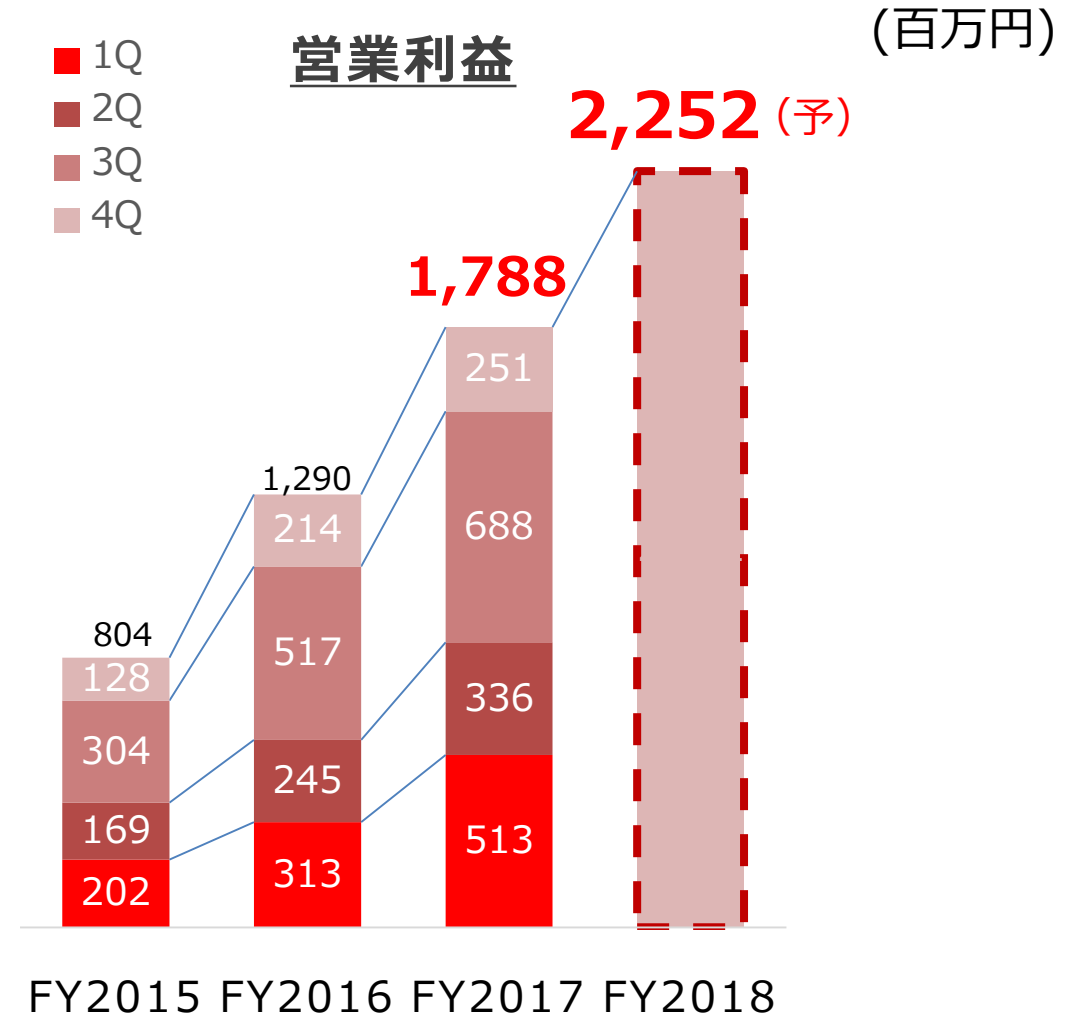
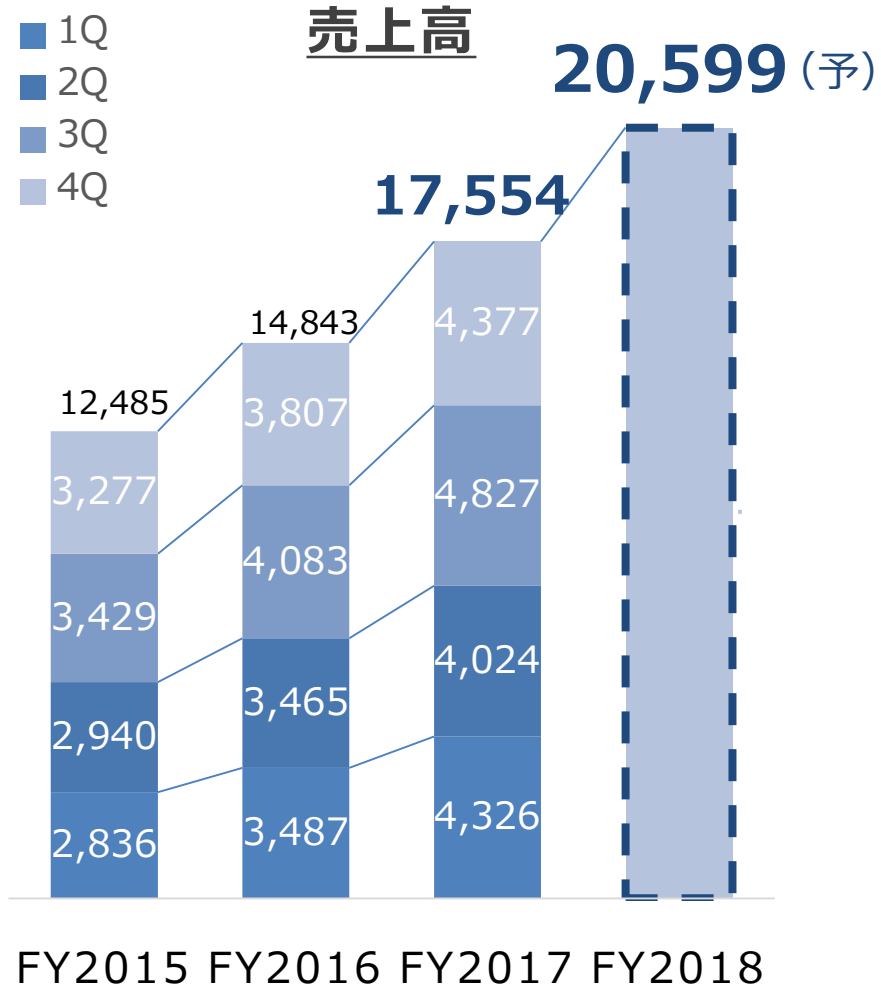
増収増益を継続。

- 主要ターゲット（新設法人・ベンチャー企業）の獲得が引き続き好調。
- CRMによる継続取引の積み上げ、アップセル/クロスセル。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

引き続き順調に成長を予想。



(注) 2015年度の四半期実績につきましては、四半期財務諸表を作成しておりませんので、参考数値となります。

- 事業の拡大と周辺ビジネスの収益化で差別化をはかる。
- 業界圧倒的No.1（生産性、シェア、利益）を実現。

拡大（一層の市場開拓）

- グローバルWiFi事業
 - ・集客／販売チャンネルの多様化・深化
 - ・一層の法人営業強化
- 情報通信サービス事業
 - ・流入チャンネル拡大
 - ・企業のための総合支援サイト「ビマケ（Vision Business Market）」等



活用 （顧客基盤を活かす新ビジネス）

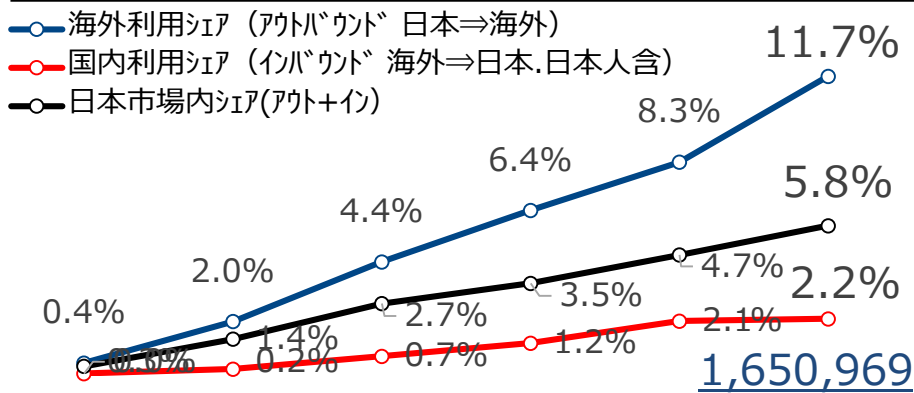
- グローバルWiFi事業
 - ・旅行関連サービスプラットフォーム
 - ・広告メディア事業／関連サービス 等
- 情報通信サービス事業
 - ・ニーズの高いサービス投入
 - ・自社開発ワークフロー、SFA 等

拡充（収益性向上）

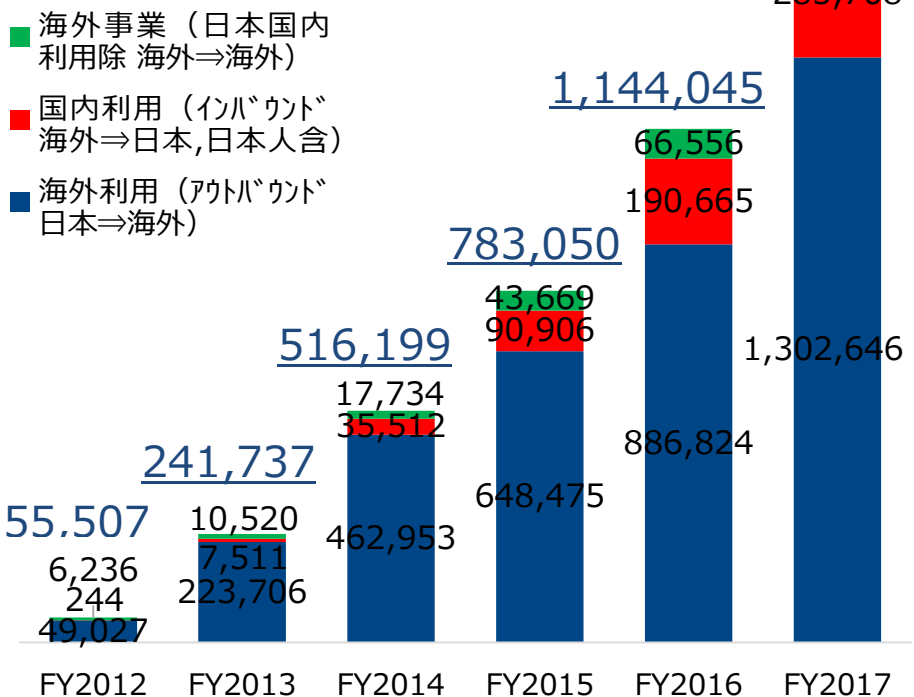
- グローバルWiFi事業
 - ・販売効率向上・一層の原価低減
 - ・オペレーション効率の更なる向上
- 全社
 - ・AI、RPA、IoTの積極的活用等による生産性向上

グローバルWiFi事業 成長ストーリー

当社WiFiレンタルサービス利用浸透率（日本）



レンタル件数



① 顧客基盤「拡大」市場開拓

③ 顧客基盤「活用」ビジネス展開

旅行関連プラットフォーム

お役立ち情報（メディア）

お役立ちサービス

動画配信 ガイドブック



翻訳デバイス

他順次導入

② 顧客基盤「拡充」収益性向上

リピーター積み上げ

法人需要取り込み

増収・コスト抑制・生産性向上



世の中の情報通信産業革命に貢献します。

本発表において提供される資料ならびに情報は、いわゆる「見通し情報」(forward-looking statements)を含みます。

これらは、現在における見込み、予測およびリスクを伴う想定に基づくものであり、実質的にこれらの記述とは異なる結果を招き得る不確実性を含んでおります。

それらのリスクや不確実性には、一般的な業界ならびに市場の状況、金利、通貨為替変動といった一般的な国内および国際的な経済状況が含まれます。

今後、新しい情報や将来の出来事等があった場合であっても、当社は本発表に含まれる「見通し情報」の更新・修正を行う義務を負うものではありません。

株式会社ビジョン

- お問い合わせ： 広報・IR部 ir@vision-net.co.jp